

# 結の会だより

No.17  
 令和4年6月発行  
 NPO法人 結の会  
 宇和島市三間町  
 増田20  
 TEL/FAX  
 0895-20-7128  
 E-mail  
 yui7128@ybb.ne.jp  
 URL  
 http://yuinosato.com/  
 ゆいの里 よもぎ湯  
 で検索



## 宇和島市広報11月号の宇和島名産で紹介していただきました。

宇和島名産  
 NPO法人 結の会  
 ゆいの里 つなぐ



みんなが活き活きと笑顔で暮らせる地域に

三間町にある多機能型事業所「ゆいの里」では、障がいのある人に社会参加してもらうことを目的に、よもぎの栽培や加工食品の生産などを行っています。名前は、「結（ゆい）」という言葉の持つ意味から「お互いに助け合い、力を合わせて作業をし、地域生活を営んでいこう」という願いが込められています。当初は民家を借りて作業を行っていましたが、平成25年に県の基盤整備事業で新たな作業場が整備され、地域の人々に助け合いながら活動を続けてきました。

しかしコロナ禍で、イベントの中止などにより売り上げが減少してしまいました。利用者の時給を下げざるを得ず、今でも元の水準には戻っていないようです。そんな中でも昨年7月、周囲の要望から生活介護事業所「つなぐ」を開設しました。

「この最大の売りは職員です」と理事長の稲田さんは話します。スタッフと利用者の間にしっかりと信頼関係が築かれているので、利用者が安心して活動を行っています。「今後はグループホーム建設も視野に入れ、みんなが活き活きと笑顔で暮らせる地域にしたい」と願っています。

## つなぐ一周年

早いもので、生活介護事業所「つなぐ」も、開所一周年を迎えることができました。

一周年の7月1日に、皆さんで昼食作りを行いました。メニューはカレー・サラダ・みかんゼリーです。野菜を切ったり、ゼリーを混ぜたりと、お家でお手伝いされている方も多く、上手にできました。自分たちで作った昼食は、味も格別です。

稲田理事長も参加していただきみんなで、美味しく頂き、一緒に、楽しい時間が過ごせました。

「つなぐ」のモットーである利用者の方に『楽しく、穏やかな時間を過ごして頂く』を忘れず、毎年、今回のようなお祝いの会を開くことができればと思います。



## プチイベント（ゆいの里）

今年度も、プチイベントで楽しめました。出かけることの少なかった一年でしたが、コロナ感染が少し収まった6月には、双海シーサイドパークへ。久しぶりのお出かけだったせいか、この日は、20名の参加がありました。お洒落なレストランで食事をして、リニューアルした道の駅を散策しました。

7月は、ピザ作り体験とトマト狩りへ。ハウスでのトマト狩りも体験し、ピザのトッピングに。チーズもたっぷり載せて焼き上げてもらいました。その後は、日吉の夢産地まで足を延ばしました。外出が無理だった月は、食堂にてカラオケで楽しみました。それぞれが持ち歌を披露し、美声？を響かせていました。



## バーベキュー（ゆいの里）

11月2日、バーベキューを開催しました。みんなが楽しみにしている行事の一つです。倉庫の前に席を作り、密にならないよう気を付けながら、焼肉・焼き鳥・ハンバーグ・ホルモン焼きそばなど。お腹いっぱい食べて、楽しい時間を過ごしました。



## クッキング（つなぐ）

つなぐでは、一か月に一度みんなが楽しみにしている活動で、クッキングがあります。メニューを紹介します。

- 4月・バナナチョコチップケーキ
- 5月・おからの焼きドーナツ
- 6月・豆腐白玉団子
- 7月・カレー作り・米粉バナナケーキ
- 8月・豆腐とヨーグルトのパンケーキ
- 9月・おはぎ
- 10月・かぼちやのカップケーキ
- 11月・スイートポテト（つなぐ農園のさつまいも）
- 12月・おからを使ったチーズケーキ
- 1月・あんこ入りお餅
- 2月・チョコレート
- 3月・いちご大福

どれもおいしそうでしょう。毎月、みんなで一緒に作っています。担当職員さん、健康のこともしっかり考えて、ヘルシーメニューになってます。



## ボーナス出ました（ゆいの里）

今年度は、年度末のボーナスを、お支払いすることができました。新型コロナ感染症の影響はありましたが、よもぎ事業は、乾燥よもぎでの販売が増え、ネット販売も好調。食品加工事業は、道の駅でのゼリーの売れ行きもよく、農家さんからの委託ゼリー製造も大幅に増えました。ボーナスは、一年間の働いた時間数×40円の計算で、支給額が5万円以上あった方が5名おられました。3月分の工賃と合わせての支給だったので、喜んでいただけました。来年度も、工賃アップを目指します。

## つなぐ

生活介護事業のつなぐも、今年度、初めてボーナスを支給することができました。つなぐの生産活動は、アイロンビーズで作る雑貨製作や企業から委託を受けている新聞折り、つなぐ農園で栽培する野菜作りがあります。一年間、皆さんが頑張ってお手伝いしていただいた結果です。とても喜んでいただけました。

## 茎とネット

ゆいの里の室内作業には、茎よりという地味な作業があります。忍耐と根気のいる作業ですが、茎を除いた葉っぱだけにすると販売単価が格段に上がるので、なくせない作業です。選別に時間がかかり、受注に追いつかない状態だったので効率よくできる方法はないかと考えていたところ、DIYの得意な職員、西田さんが、扇風機を使ったお手製装置を作ってくれました。名付けて「茎よりマシン」段ボール製ですが、扇風機の風を利用して、乾燥よもぎを吹き飛ばして、楽にしかも早く、大量に選別ができるようになり大助かりです。



## 青い鳥マーケット

今年度も、新型コロナ感染症の影響で、イベントなどは、開催がなく寂しい年でした。その中で、2月19日北宇和島のグランフジにて、青い鳥マーケットに出店しました。直前まで開催できるかどうかかわからず、しかも土曜日だけの開催でしたが、久しぶりに、お客様の顔をみて販売する事ができました。



## 新職員紹介

新しい職員さんの紹介です。牧野さんは、つなぐにての勤務、片山さん、梅川さんは、ゆいの里での勤務となります。

牧野和美さん・利用者さんが、穏やかに過ごしやすい場所を作ってお手伝い出来ればと思っています。よろしくお願いします。

片山武彦さん・毎日が学びの連続ですが、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

梅川貴昭さん・皆さん、初めまして！私は、6月1日から採用されました。三間町黒井地出身の梅川（うめがわ）貴昭（たかあき）と申します。皆さんとともに精一杯努力しますので、今後ともよろしくお願いたします。

## あじがき

昨年は、コロナ禍にもかかわらず、よもぎの売れ行きが好調で、倉庫の在庫が、5月にとうとうゼロになってしまいました。こんなことは初めてのことで、大急ぎで今年もよもぎの収穫を始めました。今年もたくさん収穫できますように・・・